

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P33 <油性成分:液状>

誤)トリオクタノン(TIO) (エステル油) →削除

この表示名称には改正表示名称が設定されており、削除いたしました。トリオクタノンはトリエチルヘキサノインの旧名称となります。改正表示名称に切り替えていくことが推奨されている成分です。

<p>たとえば、角層の水分量を保つもの、汚れなどのなじみをよくし、メイク落としに使うもの、肌の上でのすべりをよくしたりするもの</p>			
		液状	おもな成分
<p>オイル</p>	合成	トリエチルヘキサノイン(エステル油)、ジメチコン(シリコンオイル)、 トリオクタノン(TIO)(エステル油)	削除
	鉱物	ミネラルオイル(石油由来)	
	天然	スクワラン(サメ由来、植物由来のものも)、ホホバ油(ホホバ種子由来)	

[正誤表]

・P47 けん化法 説明

誤)過熱 → 正)加熱

けん化法

けん化法は伝統的な石けん製造方法です。釜に入れた**油脂**と**アルカリ**を**攪拌(かくはん)**しながら**過熱**し、けん化反応を起こして石けんをつくりま
す。 **正)加熱**

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P79上段

誤) アイライナー>マスカラ・アイシャドウ>アイブロウ

正) アイライナー・マスカラ>アイシャドウ>アイブロウ (図が正となります)

〈アイメイクアップ製品のおもな種類〉

アイメイクアップ化粧品には、中身と形の組み合わせによりさまざまな種類の製品があり、とくに安全性に十分な配慮を要します。安全性に厳しい順に並べると、アイライナー>マスカラ・アイシャドウ>アイブロウとなり、目の粘膜に近い順となっています。

安全性の厳しい順

[正誤表]

・P80中段 <アイシャドウの製品剤型〉

誤) 機密容器 → 正) 気密容器

〈アイシャドウの製品剤型〉

製品剤型の性状は液状～ペースト状と固形状に分かれ、以下の種類があります。

性状	製品剤型	特徴
液状・ペースト状	油性系	耐水性に優れる。機密容器が必要
	乳化系 (W/O型)	なめらかな使用感
	乳化系 (O/W型)	化粧もちに劣る

正) 気密容器

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P80中段 <アイシャドウの製品剤型>

誤)機密容器 → 正)気密容器

<アイシャドウの製品剤型> 製品剤型の性状は液状～ペースト状と固形状に分かれ、以下の種類があります。

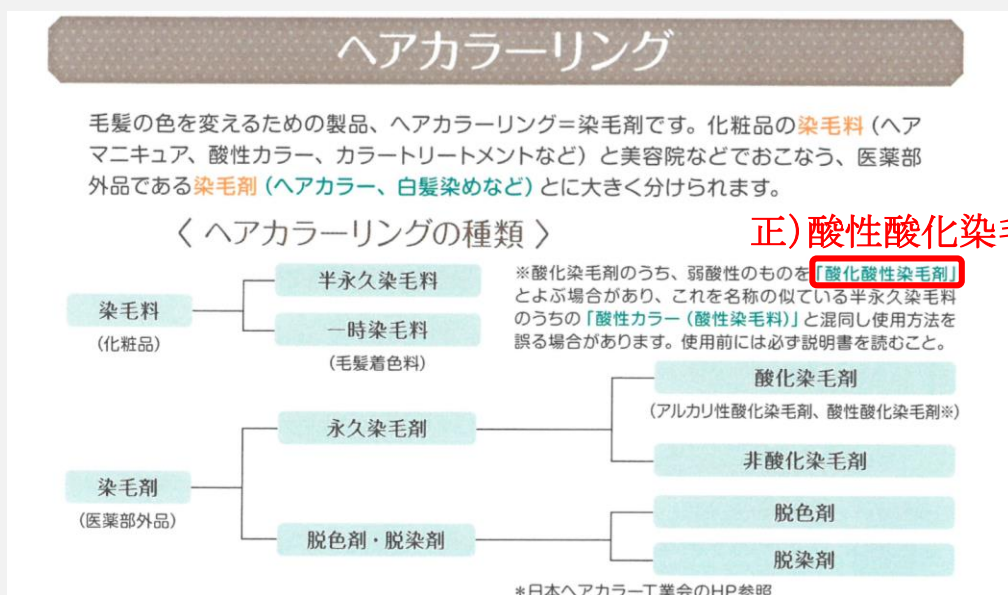
性状	製品剤型	特徴
液状・ペースト状	油性系	耐水性に優れる。機密容器が必要
	乳化系(W/O型)	なめらかな使用感
	乳化系(O/W型)	化粧もちに劣る

正)気密容器

[正誤表]

・P106<ヘアカラーリングの種類>注釈

誤)酸化酸性染毛剤 → 正)酸性酸化染毛剤



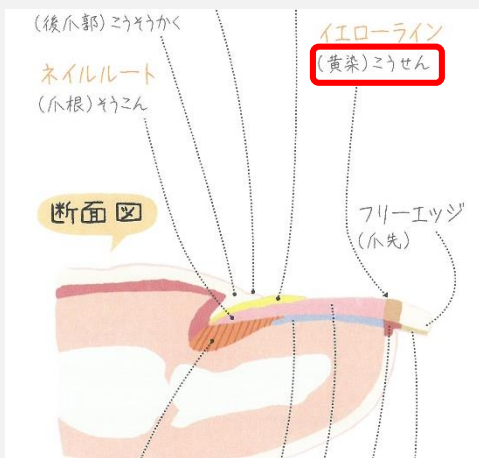
「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P111

誤) イエローライン(黄染)こうせん → 正) イエローライン(黄線)おうせん



正) (黄線) おうせん

[正誤表]

・P131 表

誤) グローブ → 正) クローブ

正) クローブ

スパイシー	ピリッとしたスパイスの香り。グローブ、ペッパー、シナモン、ナツメグ、カーネーションなどが代表的
-------	---

[正誤表]

・P131下段 表現例

誤) グリーン → 正) パウダリー

副分類

副分類

正) パウダリー

ふたつの表現を使っている場合は、後ろが主分類です

ふたつの表現が含まれる場合、前がアクセントとなる副分類、後ろが主分類の場合が多いです。反対に主分類が前にくるものもあります。

例	グリーン	フローラル	フルーティ	シトラス	シプレー	スパイシー
	副分類	主分類	副分類	主分類	主分類	副分類

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P141 表

誤) ビアミンB₆ → 正) ビタミンB₆

おすすめ栄養成分

身体の状態	成分
肌の乾燥、かさつき	ビタミンA、ビタミンC、ビタミンE、β-カロチン、◆ヒアルロン酸Na
ニキビ、肌あれ	ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆
ダイエットをしたい	L-カルニチン、◆酢酸、◆キトグルカン、◆EPA・DHA (セットで配合)
シミやくすみ	β-カロテン、ビタミンC、ビタミンE、L-システイン ◆肝斑にはトラネキサム酸 (医薬品)
目の疲れ	ビタミンA、ポリフェノール、◆ルテイン、◆アスタキサンチン
目の調子を整える	アントシアニン、◆ビルベリー由来アントシアニン
食欲不振	ビタミンB群
腰痛、肩こり	ビタミンE、ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₁₂
睡眠不足	ビアミンB₆ ビタミンB ₁₂ 、セロトニン 正) ビタミンB₆
髪にツヤがなく枝毛が多い	タンパク質、亜鉛、ビタミンB ₆ 、ビオチン
運動不足	ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂
手足のむくみ	ビタミンB群、カリウム

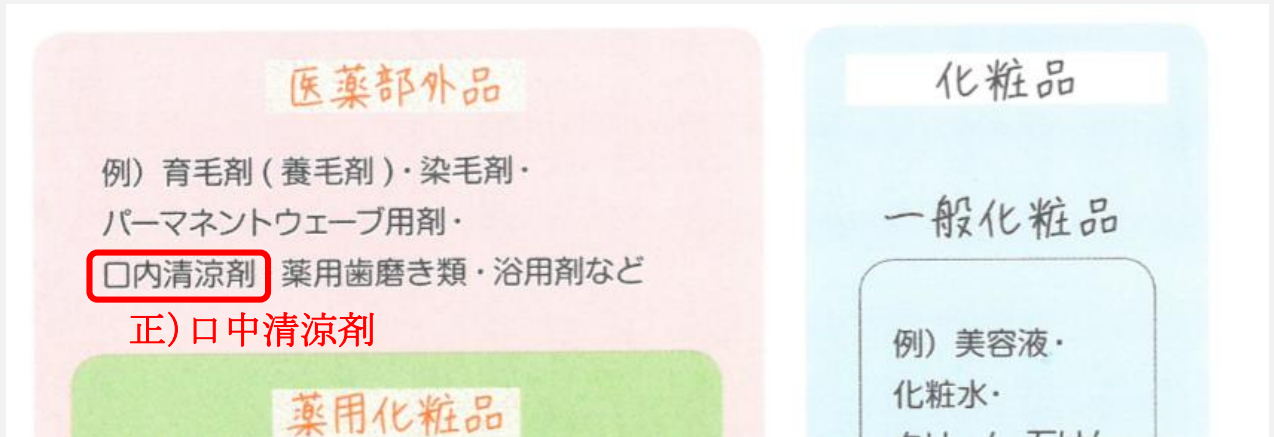
「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P149 表

誤) 口内清涼剤 → 正) 口中清涼剤



[正誤表]

・P149下段 16行目

誤) 規定料 → 正) 規定量

正) 規定量

化粧品は医薬品医療機器等法によって「化粧品」と「薬用化粧品」に分類されます。「化粧品」は「人体に対する作用が緩和なもので、「人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚若しくは毛髪をすやかに保つためのもの」と定義されています。一方、「薬用化粧品」は化粧品としての期待効果に加えて、ニキビを防いだり、美白やデオドラントなどの効果をもつ「有効成分」が配合され、化粧品と医薬品の間に位置する「医薬部外品」に位置づけられます。「医薬部外品」には「薬用化粧品」のほかに、染毛剤、パーマメント・ウェーブ用剤、浴用剤、育毛剤、除毛剤などがあります。つまり、「化粧品」と「薬用化粧品」の大きな違いは、認定された有効成分が規定料配合されているか?という点です。「薬用化粧品」の場合、容器や外箱に「医

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P152 表 シャンプー及びリンスの効能・効果

誤)汚臭 → 正)汗臭

誤)毛髪・頭皮をしなやかにする → 正)毛髪をしなやかにする

表 2.〈薬用化粧品の効能・効果の範囲〉

種類	効能・効果
シャンプー	<p>ふけ・かゆみを防ぐ。正)汗臭</p> <p>毛髪・頭皮の汚臭を防ぐ。</p> <p>毛髪・頭皮を清浄にする。</p> <p>毛髪・頭皮をすこやかに保つ。</p> <p>毛髪を清潔をしなやかにする。}二者択一</p>
リンス	<p>ふけ・かゆみを防ぐ。正)汗臭</p> <p>毛髪・頭皮の汚臭を防ぐ。</p> <p>毛髪の水分・脂肪を補い保つ。</p> <p>裂毛・切毛・枝毛を防ぐ。</p> <p>毛髪・頭皮をすこやかに保つ。</p> <p>毛髪を清潔をしなやかにする。}二者択一</p>

[正誤表]

・P152 表 シャンプー及びリンスの効能・効果

誤)汚臭 → 正)汗臭

<p>薬用石けん (洗顔料を含む)</p>	<p>〈殺菌剤主剤のもの〉 皮膚の清浄・殺菌・消毒。体臭・汚臭およびにきびを防ぐ。</p> <p>〈消炎剤主剤のもの〉 皮膚の清浄、にきび、カミソリ負けおよび肌あれを防ぐ。</p>
---------------------------	--

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2016年5月31日第2刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P153 表

誤) 口内清涼剤 → 正) 口中清涼剤

表3.〈医薬部外品の効能・効果の範囲〉

種類	使用目的	おもな剤型	効能・効果
口内清涼剤	吐き気その他の不快感の防止を目的とする内服剤である。	丸剤、板状の剤型、トローチ剤、液剤。	溜飲、悪心・嘔吐、乗物酔い、二日酔い、口臭、胸つかえ、気分不快、暑気あたり。

正) 口中清涼剤

[正誤表]

・P153 表

誤) 発毛促毛 → 正) 発毛促進

育毛剤(養毛剤)	脱毛の防止および育毛を目的とする外用剤である。	液状、エアゾール剤。	育毛、薄毛、かゆみ、脱毛の予防、毛生促進、発毛促毛 ふけ、病後・産後の脱毛、養毛。
----------	-------------------------	------------	---

正) 発毛促進

[正誤表]

・P153 表

誤) 外用剤 → 正) 浴用剤

浴用剤	原則としてその使用法が浴槽中に投入して用いられる外用剤である(浴用石けんは外用剤には該当しない)。 正) 浴用剤	散剤、顆粒剤、錠剤、軟カプセル剤、液剤。	あせも、あれ性、うちみ、肩のこり、くじき、神経痛、湿疹、しもやけ、痔、冷え性、腰痛、リウマチ、疲労回復、ひび、あかぎれ、産前産後の冷え性、にきび。
-----	---	----------------------	---